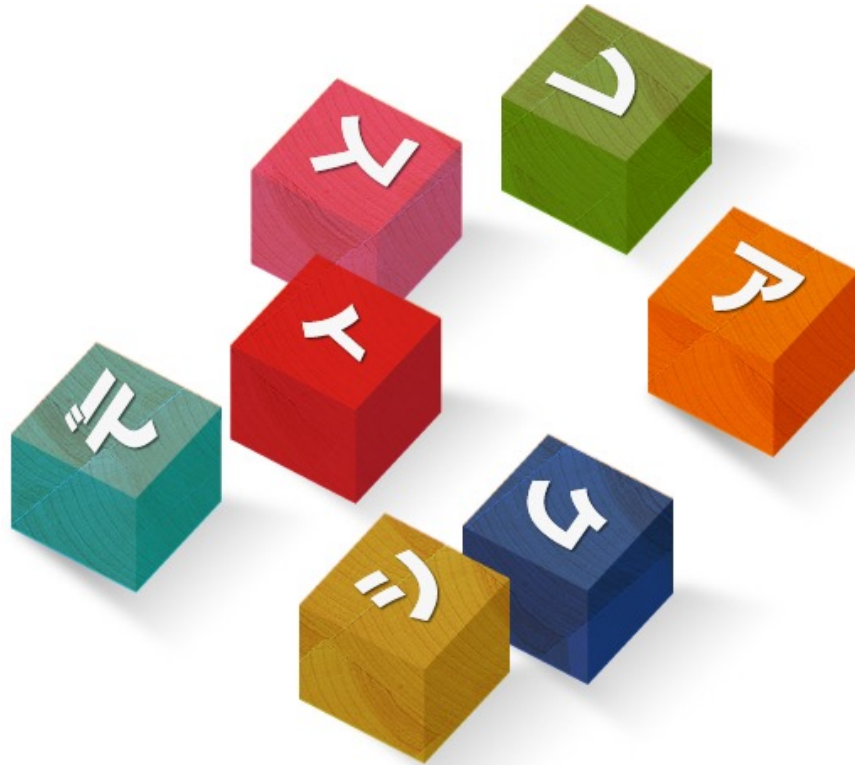


# 読み書きに困難がある人の アセスメント説明会



港区ヒューマンプラザ  
2022年11月5日

NPO法人エッジ  
藤堂栄子

読み書きが困難なディスレクシアの人たちが生き生きと暮らせる社会を目指して2001年から港区で活動しているNPOです。

## NEXT EDGEの構造



### こんなところが大変

文字がゆがんだり、崩れたり



漢字の意味は分かるけれど読みが正確でない

音読すると意味が解らない

### こんな困難さが

自分はバカだと思う

親や教師、上司から圧力が

やってもやっても結果が出ない



### こんなことをしてみると

アセスメント

検査



検査

## ディスレクシアはこんな特徴があります。

得意分野を活かして学びましょう

### こんな工夫をして

ラーニングスタイル

合理的な配慮

スタディースキル

AT/ICT



### 得意なことを活かして

音楽、絵画

自然、音楽、図形

他人に優しい



### こんなにイキイキと輝ける

芸術家、建築家

俳優、料理

写真、音楽



# ディスレクシアへできる対応

- 気づき⇒ 早期発見早期対応
- アセスメント ⇒ できることを伸ばして、困難なことを補完する
  - ⇒ 一人ひとりにあった読みやすい、わかりやすい教材や指導法、環境整備
  - ⇒ 合理的な配慮（調整と変更）
    - 時間延長、ICTの活用など
  - ⇒ ラーニングスタイルに合ったスキルの習得
    - タッチタイピング、マインドマッピングなど
    - 多感覚・MIを使ったアプローチ
  - ⇒ 本人のエンパワメント

# ディスレクシアとは？

- 読みの困難、その結果の書きの困難
- まるっきり読めないわけではない
- 生まれつき、治らない
- 見た目わからない
- 人口の10%いる(欧米では20%も)
- **スピード、正確さと流暢さに劣る**
- 日本語<英語
- 他にも計算障害、協調性運動障害、ADHD、感覚の鈍麻・過敏

不便だが、不幸ではない

低次の読み<高次の読み

文字を読める<内容理解

文字の読み書き<語彙力、文章力

# 気づき⇒ 早期発見早期対応①

- 幼少期：文字に興味がない、絵本など自分のストーリーで読む、しりとりや「た」ぬきなどが不得意
- 学齢期Ⅰ：  
ひらがなの読みが不正確（特に特殊音節）  
書きが鏡文字、似た形、似た音などと間違える

## 気づき⇒ 早期発見早期対応②

- 学齡期 2：  
漢字の読みと意味と音が結びつかない  
書く：写し間違え、書き取りや作文で漢字が書けない、間違う
- 学齡期 3：  
漢字の一つの読みは分かるが熟語になるとわからない、音読など読みたがらない  
書き写す時に不正確、作文など短い、ひらがなが多い



# 気づき⇒ 早期発見早期対応③

- 学齡期4

ローマ字を覚えなない

- 学齡期5

英語：ヒアリング・スピーキングに比べて

スペルや発音を覚えなない

# アセスメント

- おおむね知的に問題がないことを見極めて、気づいた時点でアセスメントを行うことが望ましい。現時点での同年代と比べて本人がどの程度読み書きに困難さがあるのかを**読み書きのスピード、流暢性と正確さ**を測り見る。

本人の持っている力、困難な部分と程度がわかり、これに即して、具体的な支援方法や変更と調整がわかる。また、聴いた方がわかりやすいのか、ICTなどを使ったら学びやすく表現をしやすいのかの見当がつく。

# 読み書きの困難さを知る4つの指標



# 気づき

アプリ

読み書きに関する10問で困難さへの気づきが  
簡単にできる

# 集団アセスメントの内容

- 書き写す(スピード+正確さ)
- 黙読して内容理解、音声で聞いての内容理解
- 漢字の読み(正確さ)
- 聴写課題(正確さ)
- ひらがなの読み(スピード)

使用検査:

URAWSS II、東京都読み書きアセスメント

# アセスメントでわかること

読み書きの困難があるのかどうか

- ・音で聞いたほうが分かり易いのか
- ・読むスピード、流暢さはどの程度か
- ・読む正確さはどの程度か
- ・書くスピード、流暢さはどの程度か
- ・書く正確さはどの程度か



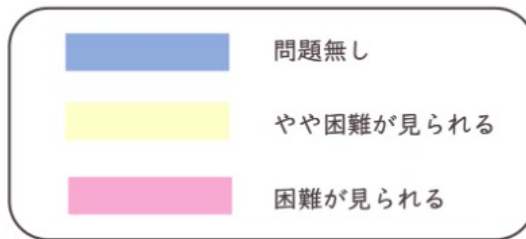
さん

### 《支援や工夫の提案》

さんは以下の困難が見られました。



自分で読むより、読んでもらったり、  
音声で聞く方が理解ができる



#### 【読みの工夫】

- ・音声読み上げ、デジタル教科書の使用
- ・分かち書き、行間や文字の拡大、フォントの変更
- ・カラーフィルタやスリットシートの使用
- ・ルビをふる、代読支援

文字から情報を得ることだけに頼るのではなく、自分の好きな分野で  
YouTubeなどから情報を得て、情報の内容を理解する方に重きを置くよ  
うにしましょう。

#### 【書きの工夫】

この検査では問題はありませんでした。  
でももし書きに関して不安なことがあれば先生に相談してみてください。



# 結果のイメージ

読み書き困難さの検査結果

さん

さんは以下の困難が見られました。

読みの 正確さ	読みの 流暢さ
書きの 正確さ	書きの 流暢さ

自分で読むより、読んでもらったり、  
音声で聞く方が理解ができる

問題無し
やや困難が見られる
困難が見られる

《支援や工夫の提案》

③

【読みの工夫】


- ・音声読み上げ、デジタル教科書の使用
- ・分かち書き、行間や文字の拡大、フォントの変更
- ・カラーフィルタやスリットシートの使用
- ・ルビをふる、代読支援


文字から情報を得ることだけに頼るのではなく、自分の好きな分野で  
YouTubeなどから情報を得て、情報の内容を理解する方に重きを置くよ  
うにしましょう。

【書きの工夫】


- ・書き写す代わりに代筆、写真撮影、必要なものはプリント提供を依頼
- ・タッチタイピングでの入力や音声入力を使用
- ・漢字は選択肢から選択
- ・書きづらい漢字はひらがなで記述

文字を書くことにエネルギーを使うよりも、ICTを利用することで、  
頭の中で考えたことを楽に表出できるよう色々試してみましょう。

Supported by  日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION

edge  EDGE  
Educational Openness United Education

2022.11





## ① 図からわかること

以下の4項目について学年平均と比べてどの程度困難があるかを色で表示

- ・読みの正確さ: 書いてある文字を正確に読めるか
- ・読みの流暢さ: 書いてあるものをスラスラと読めるか
- ・書きの正確さ: 字を正確に書けるか
- ・書きの流暢さ: 字をすらすらと書けるか

読みの 正確さ	読みの 流暢さ
書きの 正確さ	書きの 流暢さ

② 自分で読むより、読んでもらったり、  
音声で聞く方が理解できる

エッジでは各教科書の音声教材BEAMを提供している。  
問い合わせ先：

<https://www.npo-edge.jp/use-edge/beam/>

③ 支援や工夫の提案

困難のある分野への試して欲しい一般的な支援方法が  
書かれている。

個人個人で有効な支援は異なるので、色々試してみて本  
人にあった方法を探して欲しい

# アセスメントの結果でできること①

## クリーム色やピンクがあったら

- 本人にあった学習方法の方向性が分かる
- 家庭や塾、家庭教師、放課後等児童デイサービスなどでできる工夫を始められる
- 学校へ相談をして、教室の中でできる指導法、支援法、教材の工夫などを始めるためのヒントがある

# アセスメントの結果でできること②

## ピンクがあったら

- 学校と相談を始める
- より詳しい具体的な状況を知り、「合理的な配慮」を受けるために検査・アセスメントを受けることができる
- 特別支援教室などでの対応に関しては教育センターへ相談をする

# アセスメントの結果でできないこと

今回の集団アセスメントは

一般的な提案はできますが、個別の対応まで網羅  
されません。

合理的配慮申請には使用できません。

# RTI (response to intervention)

- 一人一人のできることや困難さに即してニーズに合った支援ができるように
- 支援をして効果があれば「合理的」
- 選択肢を増やす

例: 読み上げる、音声化、口頭試問、選択式  
色のシート、フォントを変えるなど

時間延長

様々な漢字の覚え方

板書の代わりにプリント⇒聞くことに集中

ICTの活用

# 読みやすくする

- 紙の質、色
- 文字のフォント(UDデジタル教科書体)
- サイズ、色(色のシートなど)
- 行間、レイアウト
- 読み上げなど音声化
- ICTの活用

# 書くことを補う

- ひらがな、漢字の覚え方
- 筆記用具の工夫、大きめの枠など
- ノートテーカー
- 板書の工夫、写真にとる、データで渡す
- ICTの活用



# ICTの活用

## 読む(内容理解)

- デジタル教科書
- BEAMなど音声化された教科書

## 書く

- 入力方法

# 学び方の工夫

文字からだけではなく

- 映像で
- 音で
- 体験で
- 伝える機器や道具 (AT-アシスティブテクノロジー、ICT)

# スタディースキル

- タッチタイピング
  - 手元を見ずに指先の動きで打ち込む
  - 文字や綴りを想起できなくても考えている速度で文字にすることができる
  - 漢字などでは判別できればよい
- マインドマッピング
  - 考えをまとめる
  - 出来事を覚える

集団アセスメントのお申し込みはこちらから

12日のアセスメントは11/7

19日のアセスメントは11/13までお申し込みいただけます



[https://lp.npo-edge.jp/group\\_assessment/](https://lp.npo-edge.jp/group_assessment/)

# アンケートのお願い

集団アセスメントは港区が皮切りで今後様々な地域で行う予定となっています。皆様のご意見、ご感想を元により良いものにしていきます。ぜひアンケートへのご回答をよろしくお願いいたします。尚、いただいたご質問でお答えできるものはリストにして後日お送りいたします。

## アセスメントに参加された方へ

お子さんが今回のアセスメントに参加された方には約1ヶ月後にアンケートをお送りいたします。ご回答いただいた方には1月15日開催の説明会Part2 (ZOOM開催 10時~12時)へご招待いたします。



<https://forms.gle/YaThsdohBamv6ggIA>



Supported by  日本 THE NIPPON  
財団 FOUNDATION